

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当面の間、さくらプラザ発行の『月間スケジュール』と『情報誌「SAKURA」』は合併号として発行いたします。

SAKURA PLAZA Monthly Schedule 2020.8

Photo series from SAKURU PLAZA...

《沢山のバンドの方々の人気練習室2・3、のミキサー》

こちらのミキサー「YAMAHA EMX5014C」はエフェクターを多数搭載しています。エフェクターとは、音になんらかの効果を加える装置のことです。

例えばホールやステージで歌っている時に発生する残響を加えるエフェクター「リバンプ」や、透明感と奥行きを加える「コーラス」などなど。これら、使うだけで気分が上がるエフェクターを使わないなんてもったいない! エフェクトONで種類を選んでチャンネルごとのかかり具合を調整するだけ。ぜひお試しあれ!

(文:勝間田 努 写真:桑田 春花)



好評発売中

● **煌めくような名曲の数々をさくらプラザ・ホールでふたたび!**
前橋 汀子 珠玉の名曲集 in 戸塚

9月12日(土)14:00開演(13:30開場)
チケット料金:一般3,700円/横浜市民3,500円/学生1,500円
会場:さくらプラザ・ホール
出演:前橋 汀子 (Vn)、松本 和将 (Pf)
※一般チケット以外はすべてさくらプラザのみ取扱い。
学生チケット購入の際は引換時に学生証を必ずご提示ください。
この公演は学生応援プロジェクト対象公演です。

『前橋 汀子 珠玉の名曲集 in 戸塚』『春風亭小朝独演会』に関するご案内
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、お席の数を制限して予約のみ承ります。今後増席が可能になった場合は、ホームページ、SNS、館内掲示等でお知らせいたします。座席は当日指定となり、公演10日前頃に座席番号案内を郵送いたします。(お客様による事前指定はできません)また、2枚以上予約された場合もソーシャルディスタンスをとった座席配置になります。※各プレイガイドも同様の対応となります。(2020.7.10 10:00時点)

チケット発売情報【振替公演含む】

● **らららん♪ドレミ Vol.10 0歳から大人まで楽しめるコンサート**
～Bambini(バンビーニ)が贈る真っ赤な秋～

9月23日(水)①10:45開演 ②12:00開演 ※各回15分前開場
全席自由 各回500円(0歳から有料)
会場:さくらプラザ・リハーサル室
出演:Bambini (バンビーニ)

● **名曲サロンVol.23 ヴァイオリンデュオコンサート**

8月20日(木)①11:30開演 ②14:30開演 ※各回15分前開場
全席自由 各回800円
会場:さくらプラザ・リハーサル室
出演:さくらプラザ サポートアーティスト
大澤 理菜子 (Vn)、早淵 綾香 (Vn)

電話予約開始
7月15日(水)14:00

電話予約開始
7月15日(水)14:00

● **鈴木理恵子 室内楽シリーズ Season2 Vol.12 (最終回)**
ヴィヴァルディ「四季」
& バロックの名作とハンガリーの民族色溢れる傑作達

12月5日(土)14:00開演(13:30開場)
全席指定 一般3,500円/ペアチケット6,000円
学生1,500円
会場:さくらプラザ・ホール
出演:鈴木 理恵子 (Vn)、デヴィッド・ノラン (Vn)
安田 謙一郎 (Vc)、曾根 麻矢子 (Cemb) 他
※3/14(土)の振替公演です。

発売開始日
現在調整中

発売開始日
現在調整中

※ペアチケットは2枚同時購入時のみ。
学生チケットはさくらプラザのみ取扱い、購入時要学生証。
この公演は学生応援プロジェクト対象公演です。

● **気軽にモーツァルト! ピアノコンチェルトを弾き振り!**

10月17日(土) 17:00開演(16:30開場)
全席指定 一般3,500円/横浜市民3,000円
学生1,500円
EX席(補助席・見切れ席)1,000円
会場:さくらプラザ・ホール
出演:野田 清隆 (Pf/Cond)
サポートアーティスト/早淵 綾香 (Vn)
コンサートミストレス/菊川 穂乃佳 (Vn)
東京藝術大学音楽学部生、卒業生 他
※3/21(土)の振替公演です。

※一般チケット以外はさくらプラザ電話予約・窓口販売のみ取扱い。
学生チケットは購入時要学生証。
この公演は学生応援プロジェクト対象公演です。

● 8月の休館日: 11日(火)、12日(水)

● さくらプラザ施設のご予約方法
▶ 横浜市市民利用施設予約システム
【TEL】045-754-4919
【HP】https://yoyaku.city.yokohama.lg.jp/ys/

● 8月の抽選申込月: 2021年2月利用(ホール・ギャラリー)

抽選申込できない日→ ホール: 1日(月)~5日(金)、7日(日)9:00~17:00、9日(火)~11日(木)、16日(火)、25日(木)、26日(金)
ギャラリー: 1日(月)、9日(火)~11日(木)、25日(木)~27日(土)

※変更になる場合あり。詳細はお問合せください。

■ご予約には「はまっカード」IDが必要です。 ■ホール・ギャラリーは空き区分に限り、個人登録での利用申込も可能です。
■窓口でのご予約の場合は施設利用料のお支払いを伴います。 ■詳しくはさくらプラザまでお問合せください。

4F ホール

● **Summer Concert**
8/8(土)13:20開演(13:00開場)

ピアノ・弦・管・声楽による発表会。
【曲目】ドビュッシー: 喜びの島、ヴィヴァルディ: コンチェルト ト長調
【チケット代】関係者のみ
【お問合せ】グループ75 080-1237-1418 (榊原)

● **藤の子会 第45回発表会**
8/9(日)14:30開演(14:00開場)

ピアノ・サクソフォン発表会。
【出演】藤の子会 舞岡おんがく教室
【チケット代】全席自由 入場無料 要事前申込
【お問合せ】舞岡おんがく教室 045-822-8277 (高木)

● **【共催】春風亭小朝独演会**
8/22(土)13:30開演(13:00開場)

師匠の巧みな話芸に引き込まれる!
【出演】春風亭小朝
【チケット代】3,600円
【お問合せ】さくらプラザ 045-866-2501

● **第22回日本演奏家コンクール**
第2次予選 ピアノ・弦楽器部門
8/24(月)~8/25(火)13:00開演(12:30開場)

クラシックコンクール。
【チケット代】関係者のみ
【お問合せ】一財)日本演奏家協会 0467-23-6589

● **ピアノコンサート**
8/29(土)14:00開演(13:45開場)

ピアノ教室生徒の発表会。
【チケット代】関係者のみ
【お問合せ】東戸塚(戸塚区平戸) ピアノ教室 090-4056-0955

さくらプラザ窓口で、チケット購入が可能なもの さくらプラザ自主事業。予約申込、チケット購入はさくらプラザまで。

新型コロナウイルスの感染拡大状況によって予定が変更になる場合がございます。最新情報につきましては、さくらプラザ ホームページ、もしくは主催者にお問い合わせください。

3F ギャラリー

● **第15回 デジカメボランティア会 横浜写真展**
8/13(木)~8/17(月)
10:00~17:00(初日13:00~ 最終日~15:00)

会員のデジタルカメラで撮影した作品約100余点を展示。
【お問合せ】デジカメボランティア会 090-8844-1540 (田中)

● **六恍ふおとくらぶ写真展**
8/25(火)~8/31(月)
10:00~18:00(初日13:00~ 最終日~15:00)

作品のジャンルはない、気の合う仲間による第2回目写真展。
【お問合せ】六恍ふおとくらぶ 090-2249-7336 (落合)

● **「梢の会」書道・詩書画展**
8/27(木)~8/30(日)
10:00~17:00

書・詩書画を学ぶグループの作品展示。
【お問合せ】梢の会 045-844-7967 (田代)

4F リハーサル室

● **名曲サロンVol.23 ヴァイオリンデュオコンサート**
8/20(木)①11:30開演 ②14:30開演 ※各回15分前開場

全席自由 各回800円
会場:さくらプラザ・リハーサル室
出演:さくらプラザ サポートアーティスト
大澤 理菜子 (Vn)、早淵 綾香 (Vn)

プリントアウト展覧会~ギャラリーの壁をうめつくそう!~

開催中!

皆さんの応募をさくらプラザが印刷!一緒にギャラリーの壁をうめつくしましょう!
右下のQRコードより、応募フォームから「自粛期間にやったこと、始めたこと」の画像データをお送りください。応募期間は6月29日(月)9:00~7月16日(木)18:00まで。応募いただいた作品は下記の日程で展示いたします。

日程: 2020年7月18日(土)~19日(日)
時間: 11:00~16:00 (最終受付15:30)
場所: さくらプラザ・ギャラリー(戸塚区戸塚町16-17 戸塚区総合庁舎3階)
入場料: 無料

皆様のご応募お待ちしております!

新型コロナウイルスの感染拡大状況によって予定が変更になる場合がございます。最新情報につきましては、さくらプラザ ホームページ、もしくは主催者にお問い合わせください。

102 cafe
102cafe
戸塚区総合庁舎3階
営業時間: 10:00~22:00

フルーツ&ケーキの店
T-Berry
豊田屋
トツカーナモール店 3F 881-0066
沢 店 881-0234
※ティールームご利用ください

額縁・画材・絵画
いつも全品割引!!
戸塚ギャラリー
月曜定休 045-871-0980
さくらプラザより徒歩3分
旭町通り横浜信金隣り

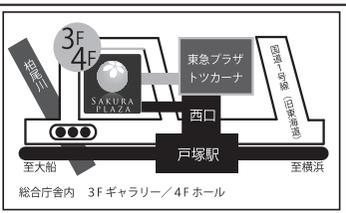
戸塚区民文化センター さくらプラザ

TEL: 045-866-2501
FAX: 045-866-2502
開館時間 9:00~22:00
(受付時間 9:00~21:00)

〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町16-17 戸塚区総合庁舎 4F
https://totsuka.hall-info.jp
info@totsuka.hall-info.jp

2020.7.10 発行
戸塚区民文化センターさくらプラザ
※この掲載内容は 2020年7月5日
時点での情報です

休館日: 原則毎月第2火曜日、年末年始



大変お待たせいたしました、6月1日より少しずつですが施設がご利用いただけるようになりました！お部屋ごとに利用に関する制限やお願い事項がありますので協力をお願いいたします。自主公演は暫くお休みさせていただきますのでご了承くださいね。You Tubeでは施設の紹介や音楽と関連のある面白企画を配信し

ています。大人も子どもも楽しめる内容です、ぜひご覧いただき感想などお寄せください。明るい明日に向かって頑張りましょう！！

2020年6月 さくらプラザ館長 小林 君江



↑さくらプラザ You Tube 公式チャンネルへ

音楽の隠し味 Op.8

このコーナーでは、作曲家や有名曲の意外な一面を知ることからクラシック音楽をより楽しめる「隠し味」をご紹介します。

第8回目はドビュッシー(前編)です。

19～20世紀にかけて活躍したフランスの作曲家です。彼はこれまでに使われていた西洋音楽のルールに疑問を持ち、独自の表現を編み出しました。作品の楽譜表紙に葛飾北斎の浮世絵を使用した事から、日本でも特に愛されている作曲家のうちの1人です。また、1980年には20フラン紙幣に彼の肖像が印刷されるなど、フランスといえどドビュッシーと言っても過言では無い程代表的な文化人です。彼の波乱万丈な人生を語るには紙面のスペースがあまりにも少ない為、第8,9回目連載と2回に分けてお話しします。皮肉屋で内気、決して良いとは言えない性格は、何十年経ってもつい吸い込まれてしまうような魅力に溢れているのです。

彼の楽曲はクラシック音楽の中でも特に異彩を放っています。「全音階」という、その時代までにはあまり使用されていなかった作曲方法を使っているからです。今でこそ高い評価を受けていますが当時はなかなか理解される事はありませんでした。今回の音楽の隠し味は、ドビュッシーの「コンクール歴」です。

ドビュッシーは8才からピアノを始めました。ピアニストになるには少し遅いと言われている年齢ですが、メキメキ上達して、たった1年間で音楽院のピアノ試験が受けられる程の腕前になります。はじめはピアニストを志しますが、その後7年間良い成績を収めることは出来ませんでした。そこで、ピアノに見切りをつけ、彼は作曲家を志す事にします。彼が曲を作る上で一番大切に考えたのは「自分の耳」です。クラシック音楽には様々なルールや形式があり、これまでの作曲家は模範的でミスが少ない作曲をする事が大前提にありました。稀に遊び心としてルールを守らない事はあっても、骨組みは守っていないと評価されにくい時代だったのです。

しかしドビュッシーは、あえてミスを連発します。当然学内での評価は悪く、「どうしてこのような事をするのか。この音を君は美しいと本当に思うのか？」という師の問いに対し、「ええ、きれいだと思いますとも！」と言いました。彼にとって理論なんてものは無く、聴いて快いということが



ドビュッシー

一番のルールだったのです。

さて、当時のフランスで正統的な作曲家になる為には必ず通らなければならないと言われている狭き門があります。「ローマ賞」です。パリ音楽院作曲科の内部的に行われるコンクールで、時間内に課題をこなし審査員に認められれば、ローマ賞授与の栄誉とイタリアへ最大4年間の留学が与えられるものでした。コンクールはかなり過酷なもので、予選をクリアした通過者は、狭く薄暗い屋根裏部屋に押し込められます。そして、25日間ひたすら作曲に打ち込むのです。受験者が集中したい時に限って、向かいの教会では結婚式が行われ大音量で音楽が流れてくる始末。結婚式中の新郎新婦に向かって、屋根裏部屋の住人達はワァー！ギャオー！と奇声を発する程厳しい戦いでした。

ドビュッシーはこのコンクールに3回出場します。1回目は予選落ち、2回目で本選二等賞、3回目でやっとローマ賞を受賞します。せっかく受賞した作品ですが、彼自身は気に入っていませんでした。何故なら審査員受ける様に自分の耳を頼りにするというルールを曲げ、型へはめ込むよう妥協したからです。後に彼は「コンクールは絶対に有害なものだ。何の賞を取らずとも完璧な音楽家になっている人もいる。」と話しています。しかし、彼のコンクール受賞歴が仕事に影響したことも事実でその後は目覚ましい活躍をみせました。

ドビュッシーはローマ賞を獲った事により、作曲をする上での"正解"を書けるという事を証明しました。しかし、彼は創作の上で"正解"を書きたがりませんでした。既存のルールよりも耳で聞いた美しさを優先させたからです。適当に自分の耳だけで創作している事と、答

えを知っていて理論も分かった上で音の選択をしている事では大きく違います。理論を知った上で敢えて崩しているからこそ彼の作品は素晴らしく美しく、独特な曲ばかりなのです。ドビュッシーの「コンクール歴」は作品の隠し味となっているのではないのでしょうか。

① おすすめの一曲

ドビュッシー / 牧神の午後への前奏曲

この曲はマラルメという詩人の「牧神の午後」という詩に寄せて書かれました。牧神とは山野と牧畜を司る半人半獣の神のことで、その神が眠りから覚めたところから始まります。夢なのか現実なのか行ったり来たりする様子が見事に音楽によって描かれていて、思わずため息をついてしまう程美しい作品です。『Debussy faune』で検索するといくつかの音源が見つかるので是非聴いてみてくださいね。

主な参考文献

- 作曲家別名曲解説ライブラリー(1993)『ドビュッシー』音楽之友社
- ドビュッシー/平島正郎訳(1996)『音楽論集』岩波書店
- 青柳いづみこ(1997)『ドビュッシー=想念のエクトプラズム』東京書籍株式会社
- 松橋麻利(2007)『作曲家◎人と作品ドビュッシー』音楽之友社

人は皆 背中を語る… 見返戸塚人

其之四十三

戸塚の魅力あふれる方々をご紹介します。



ソプラノ歌手 おとわ まきこ 音羽 麻紀子 さん 神奈川県出身、戸塚在住のソプラノ歌手です。

戸塚人に逢いに行こう！ 詳しくはTwitterをチェック! ⇒@makiko_otowa

地域のイマ、とコレカラ...

第2-3回

●世界的にも有名な食器を製造する大倉陶園の鈴木社長。コロナによって起きた変化や、鈴木社長の考える会社・戸塚の今後についてお話を伺いました。



株式会社大倉陶園 代表取締役社長 鈴木 好幸様

—大倉陶園について教えてください。

鈴木 好幸社長(以下、略)：昨年創業100周年を迎えました。大倉陶園の企業活動のベースは食器、インテリア関係の製造です。元々は絵草紙屋、書店、洋紙店を営んでおりましたが、創業者が現在の森村商事株式会社の創業者と知り合い、「日本を豊かに」という想いに共感し始めたのが、洋食器製造のきっかけになります。当初は東京の蒲田に工場がありましたが、昭和35年に現在の地、戸塚に工場を移転しました。今は通常の製品ラインナップに加え、お客様からの色々なオーダーにも対応しております。

—コロナによって困ったことは何ですか？

やはり売上が無いというのが一番困りました。直営店(帝国ホテル店、軽井沢店)や百貨店の売り場がクローズとなり、店頭での販売は出来なくなりました。商品の動きも少なくなったため、工場も短期間ではありますが休業という形をとりました。また、積極的な営業活動もできないため、コロナによる自粛が解除された後の活動を見据え、いろいろと話し合いを行っていました。今後は、生活様式も変わってくると思われることから、その変化に応じた商品開発やSNSを利用した情報発信を積極的に行うとともに、更にお客様のニーズに応えられるよう、喜んでいただけるよう事業の改善を進めたいと思っています。

—さくらプラザ(戸塚)に求めるものは何でしょうか？

戸塚にお住まいの方にも「大倉陶園」をご存知ない方が大勢いらっしゃると思いますので、毎年戸塚区役所で開催される「戸塚ものづくり自慢展」のような機会が沢山あれば、地域企業の存在と、ものづくりへのこだわりをより多くの人に知っていただけるのではないのでしょうか。そういったことから、より幅広い年齢層の方々に、戸塚の街に興味を持っていただけると良いですね。

(取材・文：勝間田 努)



↑詳細版を当館ホームページからご覧ください。

新型コロナウイルス(以下、コロナ)によって戸塚の人々のイマがどのように変わったか、コレカラどうなっていくか、インタビューを通じて見つめます。第二回は株式会社大倉陶園 代表取締役社長の鈴木 好幸様、第三回は横浜Fun☆Key Singers (ファンキーシンガーズ)の皆さんにインタビューを行いました。

●いつも練習室を利用されている「横浜Fun☆Key Singers」の皆さん。横浜Fun☆Key Singersの活動はもちろん、コロナの影響や、さくらプラザに求めることについてお話を伺いました。



—横浜 Fun☆Key Singersの活動について教えてください。

ゴスペルを中心に年1回、年末に自分たちが企画したライブをしたり、大きなゴスペル祭りに出演させていただいたりしています。ライブでは懐かしの歌謡曲や洋楽など、お客様が「ああ、それ!」と思えるようなコーナーを作って楽しんでいただいています。私たちのライブは、お客様の歌声と笑顔があって初めて完成するものなんです。お客様お一人お一人が6人目のメンバーですね。日常生活の中で

ちょっと疲れたな、しんどいなという気持ちになった時こそ、私たちのライブに足を運んでいただきたいと思います。

—コロナの影響でどのように活動が変化されていますか？

今回、まさかこんなにコロナの影響が長引くとは思いませんでした。現在もライブはほとんど中止や延期になっています。2週間に1回程度リモートでミーティングと顔合わせをしていますが、やはりハモニーを作るには限界があるので、皆で「一緒に歌って楽しい」という感覚を共有できないことは一番辛いですね。

—最後にさくらプラザに求めることをお聞かせください。

私たちのライブは皆が集まって、一緒に話し合いながら手作りしています。今回は、改めて集まる場所の必要性を痛感しましたね。今の横浜市のガイドラインでは「歌」の利用では練習室が使えません。そこだけでもOKになれば練習室からSNSで発信したり、メイキング映像を撮ったりしてみたいですね。その時は「さくらプラザ」を連呼しますよ(笑)。

(取材・文：五十嵐 武)



↑詳細版を当館ホームページからご覧ください。

—声楽を始めたきっかけはなんですか？

歌うことが好きで子どものころに合唱をやっていたのですが、その後は特に歌うことや声楽家を志すことはありませんでした。しかし、高校の選択授業の際にみんなの前で一人ひとり歌う機会があったので、その時の先生に声楽を薦められたことが転機となりました。高校2年生の時に教わった声楽の先生がフェリス女学院大学でも教えていらしたので、そのままフェリスに魅力を感じて進学をいたしました。

—現在はどのような活動をされているのでしょうか？

最近はおペラ出演の仕事が増えました。(ただ、新型コロナウイルスの影響でだいぶ仕事が中止になってしまいましたが……。) ソロの活動やアンサンブルも日々頑張っています。私が10年くらい参加しているアンサンブルグループは、私の師匠がご自身のお弟子さん達と活動を

行っていて、月3回程度練習があるので私の音楽人生の重要な部分を占めています。

—音羽さんにとって戸塚はどんな街ですか？

程よく生活しやすく、横浜駅にもすぐ行けるので便利です。また文化芸術を楽しめる区民文化センターが駅前にあるのも魅力的です。

—今後の目標をお聞かせください。

これは目標というか、気を付けたいことですが、新型コロナウイルスが流行しているので、健康に気を付けて過ごしたいです(笑)。仕事面ではオーケストラの伴奏で歌いたいです。

※次号の予告は当面の閲覧らせていただきます。